

報道関係者各位

株式会社C & Gシステムズ

プレート加工で±2 ミクロンの加工精度を実現

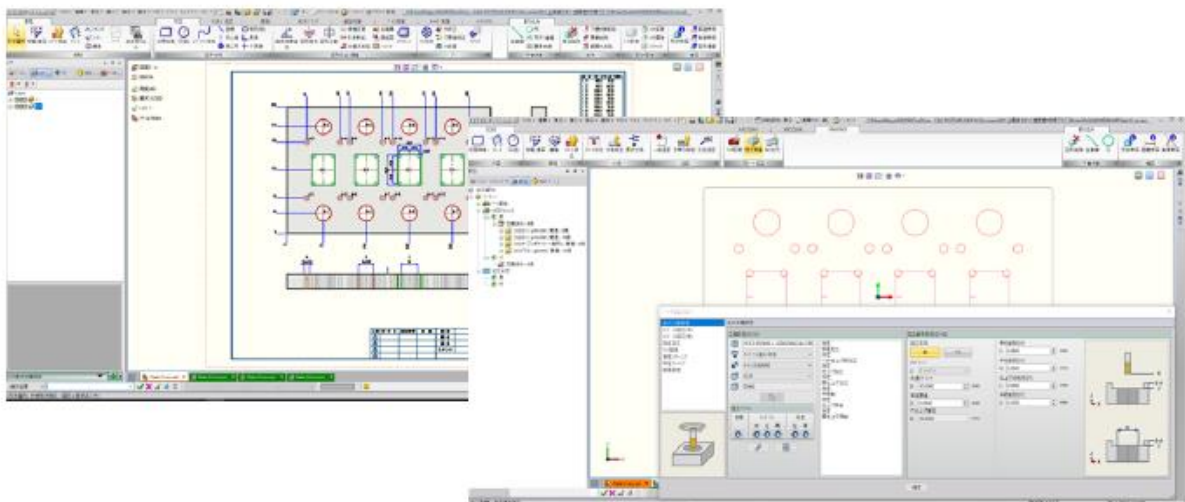
～ 荒加工から砥石研削まで仕上げ加工を自動化 ～

当社（社長：塩田聖一）は、金型向け2次元・3次元（2D・3D）融合型のCAD/CAMシステム、EXCESS-HYBRID II（エクセスハイブリッドツール）の新版「V8.1」（本バージョン）を2月よりリリースいたします。

本バージョンでは、株式会社牧野フライス製作所との協業により、同社製のマシニングセンター（MC）「V56i、V33i」の制御装置に組み込まれた「SMART TOOL ZeroBorer（スマートツールゼロボーラー）」の専用インターフェイス「ZeroBorer Interface（ゼロボーラーインターフェイス）」を新たにオプション機能として搭載します。

「SMART TOOL ZeroBorer」は、焼き入れ後のプレートに対し、「切削加工、砥石加工、測定」を機上で繰り返すことで目標精度を達成し、プレート仕上げ加工工程を自動化した高精度加工機能です。従来、順送金型プレートは、熟練技術者がジグ研削盤による加工と手動による測定を繰り返して要求精度を満たしてきましたが、自動測定と自動再加工機能によりエンドミルの荒加工から砥石研削の仕上げ加工まで全自動で完成させることができ、リードタイムの大幅な削減につながります。

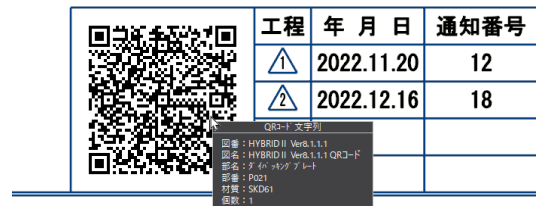
一方、「ZeroBorer Interface」では、同社で培われた切削から砥石加工、測定手法などの最適値を推奨パラメータとして実装し、これまでMCの対話画面で行っていた加工プログラムの作成を、CAD/CAMの操作プロセスで素早く正確に処理できるため、同社製MCによるプレート加工効率と機械稼働率が飛躍的に向上します。



ZeroBorer Interface のイメージ

■ QRコード機能を搭載

一般注記コマンドで、図面内にQRコードを貼付することが可能になりました。型番号や図面番号、部品属性などをQRコード化することで、工程管理システムなどでの各属性を素早く正確に認識することが可能になります。また、CAD図面に配置したQRコードの情報は、ツールチップ（マウスオーバーした際に表示される補足説明）で容易に確認することが可能です。



■ 35項目の新機能を搭載

この他、図面作成支援機能や金型設計支援機能、モデリング支援機能やCAM機能など、35項目の機能強化を行いました。

* * *

【製品価格】

- ・最小モジュール構成 : 600,000円～
- ・ゼロボーラーインターフェイス : 500,000円

※価格は税別、保守料別、モジュール構成により変動

【当社の基本情報】

- ・設立 : 2007年7月2日 (※1)
- ・資本金 : 5億円
- ・事業内容 : CAD/CAMシステム、生産管理システム等の開発、販売、サポート

(※1) 当社は、2007年にコンピュータエンジニアリング社（1978年設立）とグラフィックプロダクツ社（1981年設立）が経営統合し、その後、2010年に合併して発足したCAD/CAMソリューションメーカーです。

※記載されている会社名・団体名、製品名・サービス名等は、各社・各団体の商標または登録商標です。

本件に関するお問い合わせ

(株) C&Gシステムズ 広報担当 伊沢 達也 (Izawa Tatsuya)

東京本社 (東京都品川区) TEL 03-6864-0777 FAX 03-6864-0778
 北九州本社 (福岡県北九州市) TEL 093-642-4541 FAX 093-641-3615
 E-mail: cgs_pr@cgsys.co.jp <https://www.cgsys.co.jp>